

# 「道徳の時間」学習指導案

- 1 学年 第2学年4組 35名
- 2 主題名 温かいやさしさ 内容項目 B－親切，思いやり
- 3 教材名 くまくんのたからもの (出典：「みんなたのしく」東京書籍)
- 4 主題設定の理由

○ よりよい人間関係を築いていくためには、温かい心で相手に接することや親切にしようとする気持ちが大切である。相手を思いやる心が行為になったものが「親切」となる。相手の気持ちを察した上で、どのように対処することが本当に相手のためになるのかを考えて行動することが大切であると考え。また、身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが必要である。そして、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、具体的に親切な行為ができるようにする。

この時期の児童は、家族だけでなく家の周りの人々や学校の先生、友達などとの関わりが次第に増えてくる。しかし、ほとんどの児童が自分が一番で自分中心の考え方をすることが多く見られる。そこで、相手のことを考え、優しく接すると自分も温かい心になることに気付かせ、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れ、親切な行為ができる子に育てたいと考え、本主題を設定した。

○ 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。

質問内容	肯定的回答	否定的回答
① 友達に親切にしたことがありますか。	89% (31/35)	11% (4/35)
② 友達に親切にしてもらったことがありますか。	97% (34/35)	3% (1/35)
③ 友達に親切にしようと思いますか。	91% (32/35)	9% (3/35)
④ 友達に親切にするとどんな気持ちになりますか。	・嬉しい気持ち (14人) ・良い気持ち (5人) ・嫌な気持ちもどこかにとんでいく気持ち (1人) ・ホッとする気持ち (1人) ・親切にしてよかった。(3人) ・今度からもやさしくしようという気持ち (1人) ・もっと助けてあげたいという気持ち (1人) ・スッキリした気持ち (3人)	
⑤ 友達に親切にされるとどんな気持ちになりますか。	・ありがとう。(12人) ・助かったよ。(3人) ・嬉しい気持ち (10人) ・優しい気持ち (3人) ・良い気持ち (5人)	

アンケート結果から、本学級の児童の「親切、思いやり」について次のように分析した。

- ・児童の多くは、「友達に親切にしたことがある」、「友達に親切にしてもらったことがある」という経験をしている。
- ・相手の事を考え親切にすると自分も相手も良い気持ち、温かい気持ちになることは理解しているが、周りの困っている人の存在に気付いていない児童が数名いる。教員の見取りでは、お茶がこぼれて困っている友達を見ても素通りしたり、相手の気持ちを考えずに相手が悲しむ発言をしたりするなど、周りの友達の困っている様子に気付いていない児童も数人いる。

○ 指導にあたって、導入では、宝物についてのイメージを共有し、ねらいとする価値への方向付けをする。

基本発問では、たくさんの宝物でいっぱいになったときのくまくんの喜びや宝物が入ったかばんの大切さに共感させることで、宝物を捨てる際の葛藤につなげる。

中心発問では、ねずみくんから、どんぐりをもらったとき、くまくんはどんな気持ちになったのかを問い、親切にすると、親切にした本人も温かい気持ちになることに気付かせたい。また、親切にすると、された方もした方も嬉しい気持ちなることに気付かせていく。

終末では、自分も相手も気持ちよくなった経験を思い出し、やさしい心をもって相手に接していこうとする気持ちを高めて終わりたい。

## 5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、低学年の目標である「相手の立場に立って行動できる子」（他者への思いやり）に関連している。

この内容項目は、各教科や常時活動などを通して、個々が様々な場面で直面するため、学校生活の多岐にわたって関連が見られる。特に、音楽発表会に向けて合唱・合奏の練習を行っている。音楽科や学校行事を通してその練習が行われる中、その中で互いに相手の立場に立って考え、相手に合わせたり、相手の気持ちを考えた声掛けをしたりしながら進めてきた。親切にしてもらったことを想起させ、そのよさを実感させながら相手の気持ちを考える行動につながることを感じられるような指導を行いたい。

## 6 ねらい

やさしく親切な気持ちをもって接すると相手も自分も温かい気持ちになれることを理解し、身近な人に温かい心で親切にしようとする心情を育てる。

## 7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

## 8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)
導 入	1 自分にとっての宝物を想起する。	○みんななら、このかばんの中にどんな宝物を入れますか。 ・ゲーム・思い出の写真・シール・お守り ・ミニカー・おもちゃ	○宝物についてのイメージを共有し、ねらいとする価値への方向付けをする。
	2 教材「くまくんのたからもの」の前段を聞き、話し合う。	かばんが宝物でいっぱいになったとき、くまくんはどんな気持ちだったでしょうか。	○たくさんの宝物でいっぱいになったときのくまくんの喜びやその大切さに共感さ

展開

3教材後段を聞き、話し合う。

ねずみくんは、どんな気持ちで、くまくんにどんぐりをわたしたのでしょうか。

- ・宝物でいっぱいになってうれしいな。
- ・大事にしよう。
- ・今日はとても幸せな日だな。
- ・帰ったらゆっくり見よう。ぼくの大事な宝物だ。

思い切っかばんをさかさまにふったとき、くまくんはどんなことを考えていたでしょう。

- ・どうしよう。大切な宝物を捨てたくないな。
- ・また集めたらいい。
- ・ねずみくんを助ける方が大事だ。
- ・ねずみくんの気持ちが分かるから放っておけなくて。

ねずみくんから、どんぐりをもらったとき、くまくんはどんなことを考えたでしょう。

<A:驚き>

- ・びっくり。
- ・最初にひろったときより、どんぐりがあたたかくなっている。
- ・いつの間に持ってきてくれたの？もうなくなったと思ったのに。ぼくの大事な宝物にするね。

<B:感謝>

- ・ねずみくんありがとう。ぼくの大切などんぐりを持っていてくれたんだ。
- ・ありがとう。うれしいな。あの時、かばんを空っぽにしてよかった。
- ・きっと大切に持っていてくれたんだね。ねずみくんの手のぬくもりだね。ありがとう。

<C:温かさ>

- ・これを見るたびに今日のこととねずみくんのことを思い出すよ。ねずみくんが助かって本当によかった。
- ・ぼくがねずみくんのことを助けてあげられた記念のどんぐりだ。

- ・たすけてくれてありがとう。
- ・ごめんね。たった1個になっちゃった…。
- ・ぼくのために大切な宝物を捨ててくれた。
- ・助けてくれたお返しに、1つだけでも渡したい。

最初に拾ったどんぐりとねずみくんからもらったどんぐりは同じどんぐりかな？

- ・ちがう。ねずみくんの温かい思いがつまったどんぐりだから。
- ・ちがう。ねずみくんが拾って持っていてくれたやさしさがつまったどんぐりだから。
- ・ちがう。ねずみくんからもらった、大切な思い出のどんぐりだから。

せることで、宝物を捨てる際の葛藤につなげる。

○宝物を捨てればいいんだということに気付いたとき、くまくんは、どんな思いや迷いがあったか考えさせ、くまくんの中にある「宝物を捨てたくない。」というもう一つの気持ちにも気付かせる。

○ワークシートに書かせ、くまくんの気持ちを考え、整理させる。

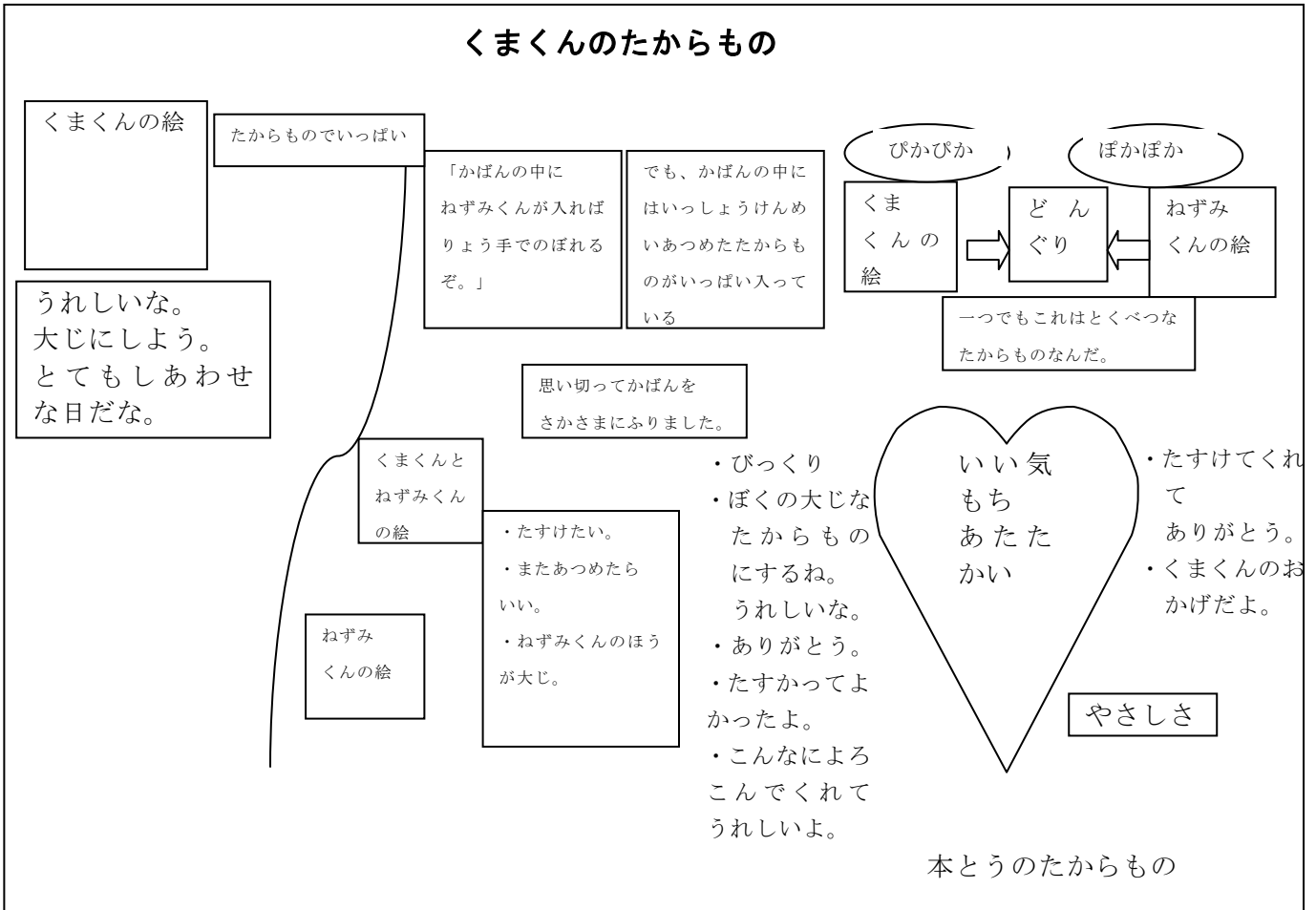
○座席表で見取り、意図的指名に生かす。

○ねずみくんの気持ちも考えさせ、お互いの相手を思っているやさしさに気付かせる。

★親切にすると、された方もした方もうれしい気持ちになることに気付くことができたか。

終末	4 自分の生活を振り返る。	○クラスの子が親切にしている様子や日記を紹介する。	○自分も相手も気持ちよくなった経験を思い出す。
	5 振り返りを交流する。	今日の学習で、感じたこと、発見したことを発表しましょう。	○思いやりの心を持って相手に接していこうとする気持ちを温める。

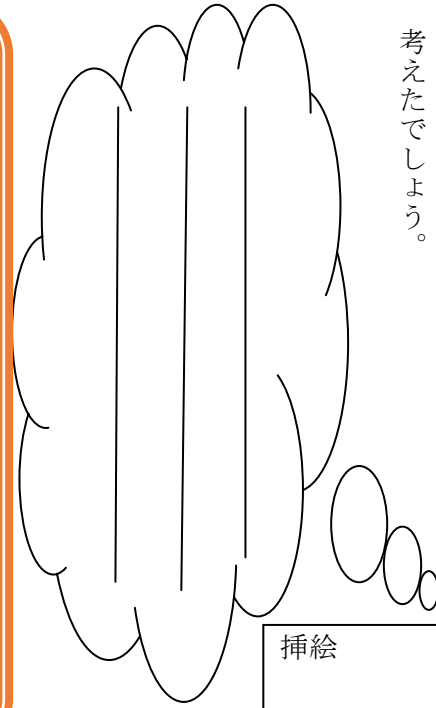
## 9 板書計画



くまくんのたからもの

名前

ねずみくんからどんぐりを  
もらったとき、くまくんはどんなことを  
考えたでしょう。



挿絵

じぶんの考えをもつてかきました。

4  
3  
2  
1

今日のじゅぎょうで新しいはっ見があった。

4  
3  
2  
1

とまだちの考えを聞いて、「なるほど」とおまった。

4  
3  
2  
1

★今日のじゅぎょうで新しくはっ見したじゅ、なるほど」と

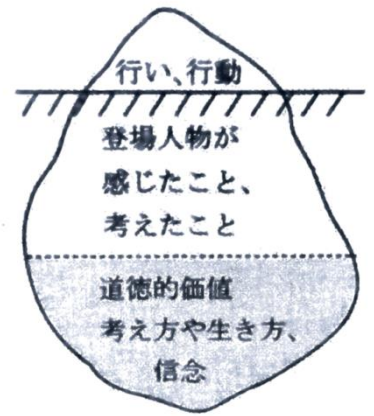
おまったじゅ、なるほどじゅ。

Three vertical lines for writing inside a rounded rectangular box.

( 2 ) 年 ( 4 ) 組

内容項目 B－親切, 思いやり

教材名 くまくんのたからもの



## 【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	<ul style="list-style-type: none"><li>・つるをあなにおとし, くまくんは, ゆっくりと降りていった。</li><li>・ねずみの子を抱えて, つるを登り始めた。</li><li>・「ええい。」くまくんは思い切ってかばんをさかさまにふった。</li><li>・くまくんは, 両手でぶどうのつるをしっかりとつかむとゆっくり登り始めた。</li><li>・ねずみくんからもらったまだ温かいどんぐりをかばんの中にしまった。</li></ul>
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・せっかく集めた宝物だ。もったいないから捨てられないよ。</li><li>・ねずみくんを助けることが一番大切なことだから助けよう。</li><li>・宝物はあきらめても, ねずみくんを助きたい。</li><li>・宝物も大事だけど, 困っているねずみくんの力になりたい。</li><li>・一つでも, これはとくべつな宝物なんだ。</li></ul>
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none"><li>・相手の気持ちが分かるから, 放っておけない。</li><li>・親切にすると, 相手も自分も嬉しい気持ちになる。</li><li>・親切にすると, お互いが温かい心になる。</li><li>・お互いのことを思いあうことができる。</li><li>・助ける方も助けられる方もあたたかい気持ちになる (感謝される)。</li></ul>